

## 令和3年度 第2回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和3年11月17日(水) 午後2時00分～午後3時30分

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室

3 出席委員 委員長 宇野 勇治(大学教授)  
(委員数4) 委員 櫻井 敬子(弁護士)  
委員 太田 成紀(公認会計士)  
委員 村林 聖子(大学教授)

4 出席した事務局職員

出契約課長

黒柳主幹、高島主任主査、井澤主任主査、  
水越主任主査、佐藤主査

5 概 要

(1) 契約課長あいさつ

(2) 報告事項

- ・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和3年7月～9月)
- ・入札参加停止の状況(対象期間:令和3年7月～9月)

(3) 抽出対象工事等の審議

対象期間:令和3年7月～9月

- ・一般競争入札 6件
- ・指名競争入札 5件
- ・随意契約 1件

(4) その他

- ・中間報告書の提言について

SDGsに関しては、数ある項目のなかから岡崎市の重点的な取り組みと繋がり、かつ入札や工事にも関わる項目に絞って、それを入札・契約制度に具体的に落とし込むことが望まれる。また、総合評価方式の評価項目についても重複とならないように整理することも必要である。

- ・次回の定例会議について

次回の定例会議の日程は令和4年2月4日(金)14時からとなった。

<主な質疑>

質 問・意 見	回 答
<p><b>【抽出案件の審議】</b></p> <p><u>1 舗装点検業務（岡崎市全域）</u></p> <p>○参加者数が1者だが、落札率が低い要因は何か。</p> <p><u>2 下水道管渠調査測量設計業務（岡崎市福岡町地内）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p>	<p>○本業務は、本市が管理する市道のうち、幹線道路として位置づけられた路線を国が定める点検要領等に基づき点検を実施するもので、令和2年度より行っています。</p> <p>今回、幹線道路約127kmのうち、約40kmの点検を行い、路面のひび割れなどを調査・測定し、路面の劣化状態を評価する「路面性状調査」と重大な陥没事故の発生原因となる路面下の空洞発生状況を把握するための「路面下空洞調査」を実施します。</p> <p>コンサルタント業務の入札方法の基準は、予定価格2,000万円以上は一般競争入札、500万円以上2,000万円未満は一般競争入札または指名競争入札を基本としており、2,000万円以上でも入札参加可能業者に市内業者が含まれる場合は、市内優先調達の観点から指名競争入札としております。</p> <p>本業務は予定価格2,000万円以上のコンサルタント業務であり、入札参加条件を満たす市内業者がいないため、市外まで広げた一般競争入札としています。</p> <p>今回の調査のうち路面下空洞調査は、特殊車両、ハンディ型レーダによる探査、また必要に応じてコア抜きを行った上でカメラ調査を行うといった手間のかかる内容であり、各業者が敬遠したものの、ニチレキ株式会社中部支店は令和2年度発注の同業務も受注していることから受注意欲が高く、落札率も低くなったと推測されます。</p> <p>○本業務は、福岡町における最大管径1500mm計630mの雨水管設計となります。雨水管設計は污水管と比べ、吐き口となる河川的能力検討が関わるため難易度が高い業務で、今回、予定価格2,000万円未満のコンサルタ</p>

### 3 配水管布設工事（岡崎市美合町地内）

○契約金額が高いにも関わらず、入札参加者が少なく、落札率が高い要因は何か。

### 4 跨線橋点検に伴う電力設備防護工事（岡崎市東牧内町ほか3箇町地内）

○落札率が高い（100%）要因は何か。

ント業務であり、実績のある業者を選定したことから指名競争入札としています。

落札したパシフィックコンサルタンツ、そしてくじ引きで外れたオリジナル設計は過去5年以内に雨水管設計業務を多く受注していることから、受注意欲が高く、結果落札率が低くなったと推測されます。

○本工事は、老朽化した水道管（石綿管）の管路更新を行う工事です。今回の施工は名古屋鉄道の踏切下の水道管が対象となりますが、掘削して布設替えをすることが困難であることから、踏切の両側に作業用の立坑を掘り、既設水道管の中に新たに水道管を挿入する工法（SDF工法）を採用しています。踏切下の作業が伴うため、名鉄とも調整を行う必要があり、施工も電車が走行していない深夜0時から5時までしか行えません。そのため参加者数が少なく、落札率が高くなりました。1者のみ入札に参加し、落札率99.8%で河合設備が落札しました。

○本工事は、別で発注している跨線橋橋りょう点検業務で跨線橋の点検を行う際に、JRの配電線等の電力設備に近接するため安全を期して防護カバーを仮設するものです。

岡崎市競争入札参加者選定要領で定める予定金額200万円以上1,000万円未満の指名定数は5者となっていますが、岡崎市の名簿に登録がある業者の内、線路内での作業となるためJRが定める在来線工務関係作業従事員証を有し、電力設備防護工事が施工可能な業者は3者のみのため、指名競争入札としました。

入札の結果、1者辞退、2者が予定価格と同額であったため、くじにより新生テクノス株式会社中部支店が落札しました。落札率が高くなった理由ですが、線路内の作業となるため、列車見張員の配置が必要で、施工も夜

5 竹千代橋 橋りょう耐震補強詳細設計業務（岡崎市板屋町ほか1箇町地内）

○参加者数が少なく（1者）、落札率が高い（100%）要因は何か。

6 丸岡橋 橋りょう耐震補強詳細設計業務（岡崎市丸山町ほか1箇町地内）

○参加者数が少なく（1者）、落札率が高い（100%）要因は何か。

7 下水道管渠調査測量設計業務（岡崎市舞木町地内）

○参加者数が多い理由は何か。また、先ほどの同じ業務名の案件と異なり一般競争入札にした理由は何か。

間となり危険も多い点が考えられます。

○本業務は、橋脚のある橋りょうについて、耐震性や道路の重要性から耐震対策の優先度を評価し策定した耐震補強計画に基づき、竹千代橋の橋りょう下部対策として橋脚の耐震補強詳細設計を行うもので、今回、予定価格 2,000 万円未満のコンサルタント業務であり、実績のある業者を選定したいことから指名競争入札としています。

今回の業務は橋りょうの耐震補強設計であり、既存橋りょうの状況を調査・把握することに加え制約も多く、設計金額のわりに難易度も高く、橋梁設計技術者も不足していることから、参加業者も敬遠し、このような結果になったと推測されます。

○本業務は、橋脚のある橋りょうについて、耐震性や道路の重要性から耐震対策の優先度を評価して策定した耐震補強計画に基づき、丸岡橋の橋りょう下部対策として橋脚の耐震補強詳細設計を行うもので、先程と同様に、予定価格 2,000 万円未満のコンサルタント業務であり、実績のある業者を選定したいことから指名競争入札としています。

この業務は先程と同様橋りょうの耐震補強設計であり、既存橋りょうの状況を調査・把握することに加え制約も多く、設計金額のわりに難易度も高く、橋梁設計技術者も不足していることから、参加業者も敬遠し、このような結果になったと推測されます。

○本業務は、舞木町地内にて公共下水道污水管を整備するための調査測量設計業務です。

今回、予定価格 2,000 万円未満のコンサルタント業務であるものの、開削工法という標準的な設計内容が主であることから一般競

8、9 配水管布設工事（岡崎市六名本町ほか2箇町地内）

○参加者数が少なく不調になった要因は何か。

争入札としています。

そのため、1番入札金額の高かった東京設計事務所でも応札率 79.4%となるなど、受注意欲の高い多くの事業者が参加したことで、落札率も低くなったと推測されます。

○本工事は老朽化した水道管の布設替えをする工事です。

2者の入札参加申込みがありましたが1者辞退、1者失格となっています。失格となった理由としまして、入札参加申請時に一般競争参加資格申請書の添付を求めています。その書類が添付されていなかったため失格となり、不調となりました。再度、入札に付したものが番号 112 となります。単価のみ最新のものに見直し再入札を行いました。先ほど失格となったフジ興業、1者が入札に参加し、再度、失格となっています。失格となった理由としまして、入札時に工事費内訳書の添付を求めています。その書類が添付されていなかったため失格となり、不調となりました。その後、再度単価を最新のものに見直し再々入札を行った結果は、4者の入札参加申込みがあり、落札率 88.3%で浦上建設が落札しました。

この再々入札の結果をみると、初回と2回目の入札で参加者数が少なかったのはタイミングの問題と考えられます。

10 下水道管渠築造工事その2（岡崎市針崎町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○本工事は、雨水管渠整備事業として、針崎雨水ポンプ場への雨水幹線を整備する工事です。布設する管渠が2.5m×2.5mのボックスカルバートを延長約150m布設するもので、規模が大きく、また、特殊な土留め工法（オープンシールドジャッキング工法）を採用し仮設としているため契約金額が高くなりました。

6者、参加申込みがありましたが、1者失

格となっています。失格となった理由としまして、入札参加資格としてシールド工法又は推進工法の施工実績を求めていましたが、どちらにも該当しない実績で申請してきたため失格となりました。結果、評価点では3番手ですが、入札額が1番低い小原建設が落札しました。

11 岡崎市民病院物流管理業務(岡崎市高隆寺町地内)

○契約金額が高い要因は何か。

○本業務は、市民病院内における診療材料、事務日用品等の管理及び各現場への搬送を行う物流管理や手術室を始めとする滅菌管理、タオル・ガーゼ等のリネン洗濯管理等を一括して行うものです。様々な業務を一括して発注しているため契約金額が高くなりました。

業者選定にあたっては、本来予定価格3億円以上の場合、12者による指名競争入札となりますが、滅菌管理は厚生労働省が定める基準を満たした認定事業者でなければならず、また多岐にわたる業務の履行に多くの人員が必要となるため、指名した5者しか履行可能な業者がおりません。

ワタキューセイモア株式会社名古屋支店は、過去に市民病院のリネン管理業務を受注していたことから受注意欲が高く、3年契約の高額な業務でもあることから競争性が発揮され、落札率も低くなったと推測されます。

12 ネットワーク整備工事(岡崎市大平町ほか69箇町地内)

○随意契約の理由は何か。また落札率100%であるのは価格交渉の末の結果なのか。

○本工事は、別で発注しているケーブルテレビの伝送路更新事業におけるネットワーク設定工事と既設伝送路との接続工事です。

「ミクスネットワーク株式会社」は、本市のケーブルテレビ設備を長期間借り受ける契約を結んでケーブルテレビ事業を展開している市内唯一の事業者で、これまでも伝送路の整備に関わり、工事に必要となる既設の伝

送路に係る技術的知識を有し、本業務を円滑かつ適切に履行できる唯一の業者であるため、当該業者と特命随意契約をしております。

また落札率の件については、見積聴取の段階で価格交渉を行っているため、落札率が100%となっています。歩掛があるものは岡崎市で積算をし、見積りを聴取するため落札率が低いものもあります。